宇治田原町

約10.4km

約130分

478kcal

家康や日本茶にまつわる地を訪ね

ウォーキングコース 一例

JR宇治駅・京阪宇治駅・近鉄新田辺駅より「維中前」「緑苑坂」「工業団地」行き

出発 京都京阪バス 下町バス停 → 1 山口城跡 → 2 柿屋 → バスの利用 → B 宗円交遊庵やんたん

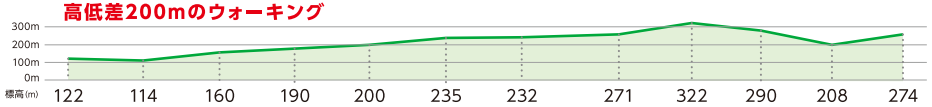
詳しくはHPでご確認ください

宇治田原町バスのご案内

石詰コース → 3 湯屋谷町並み → 4 永谷宗円生家 → 5 茶宗明神社 → 大福谷 → 6 松峠 → 7 正寿院 → 8 遍照院 → 終点 コミュニティバス 茶屋村バス停

バスの運行数が少ないためご注意ください

高低差200mのウォーキング



1 山口城跡

家康が昼食で立ち寄った！？

信長の家臣である山口氏の居城で、家康一行は昼食休憩を取り、馬を換えて伊賀越えに出発したとされています。現在は、茶畑などになっていますが、堀や石垣跡などの痕跡が残っています。

map A-1

2 柿屋

「柿屋」は初冬の風物詩

柿屋は町内各地で見ることができます。特に立川の大道寺地区では、いくつもの柿屋が立ち並び、町内で最大規模の柿屋もあります。田畑や集落と一体となった景観は見ものです。

(11月上旬～12月下旬のみ)

map D-2

出発 下町バス停 ・・・ 約7分 550m ・・・ 山口城跡 ・・・ 約11分 850m ・・・ 信金 ・・・ ほぼ平坦な道 約25分 2.1Km ・・・ 大道寺公民館 ・・・ 約30分 2.4Km

3 湯屋谷町並み（ゆやだに）

懐かしい日本遺産の町並み

山あいの集落にも関わらず、大きな茶問屋や茶農家が軒を連ねる町並みがあり、現在もその姿を色濃く残していることから、湯屋谷一帯は永谷宗円生家とともに「日本遺産」の構成資産に認定されました。

map E-2

4 永谷宗円生家（ながたにそうえんせいか）

日本の緑茶、ここから始まる

「青製煎茶製法」を編み出した永谷宗円の出生の地。湯屋谷の奥地にある宗円の出生地では、生家が復元され、茶葉の製造に使った焙炉跡を見ることができます。

map F-2

5 茶宗明神社（ちゃそうみょうじんしゃ）

お茶業者も訪れる茶の聖地

永谷宗円の功績をたたえ、昭和29年（1954）茶宗明神として合祀。現在も根強い信仰を集める氏神として、また、全国の茶問屋、茶農家などの茶に携わる人々に親しまれています。

map F-2

6 松峠

難所松峠は、昔ながらの古道

松峠は、東西の信楽街道と南北を結ぶ瀬田道が交わる要衝の地です。旅籠跡と言われている場所もあり、昔ながらの古道は家康一行の苦労が偲ばれます。

map G-2

7 正寿院（しょうじゅいん）（猪目窓）

かわいいハートは魔除けの印

猪目（いのめ）とは、ハート型であり古来から伝わる日本伝統文様の一つです。猪目窓は、四季によって色が変化し季節の移ろいが楽しめます。

数珠づくりや写経・写仏、ヨガやお茶会など、季節に応じて様々な体験が催されています。

体験要予約

電話：0774-88-3601　map G-2

8 遍照院（へんじょういん）

家康が休息をとった歴史ある寺

「伊賀越え」道中に家康が立ち寄ったと伝えられています。境内にある鎌倉時代の無縫塔は町指定文化財です。3月下旬に紅梅の古木が花を咲かせます。

map H-2

宇治田原は成功への通り道？

現在の城陽市青谷から宇治田原町を経て滋賀・大津に至る「田原道」は歴史的事件に関わる道でした。皇位継承をめぐる壬申の乱（天武天皇元年(672)）、鎌倉幕府軍と都にいる後鳥羽上皇が戦を交えた承久の乱（承久3年(1221)）、そして家康の伊賀越え。この道を通った者たちは皆、戦いの勝者になり成功を収めています。偶然とはいえ、不思議なものです。

B 宗円交遊庵やんたん

map E-2

日本緑茶発祥の地・宇治田原町の観光交流拠点。観光案内や見どころ紹介のほか、お茶に関する体験プログラム、茶農家さん自慢のお茶をはじめ地場産品等の販売など、宇治田原町の魅力が盛りだくさん。

体験要予約　電話：0774-46-8864

宗円交遊庵やんたん → 約11分 850m → 永谷宗円生家 → 約9分 700m → 大福谷 → 約11分 急な坂道 850m → 松峠 → 約10分 760m → 正寿院 → 約12分 990m → 遍照院 → 約4分 350m → 茶屋村バス停　終点

精華町

約5km

約62分

228kcal

戦国と令和の交差を感じて歩く

ウォーキングコース 一例

JR祝園駅・近鉄新祝園駅・近鉄山田川駅より「けいはんなプラザ」バス停下車

出発 → 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 終点

出発	1	2	3	4	5	終点
けいはんなプラザバス停（精華くるりんバス）	けいはんなプラザ	八大龍王神社（はちだいりゅうおうじんじゃ）	大坂道の道標（おおさかみち）	普賢院（ふげんいん）	新殿神社（しんでんじんじゃ）	近鉄京都線 山田川駅

高低差60mのウォーキング

標高(m)	100m	75m	50m	25m	0m
	102	102	65	46	55	67	41

A JA京都やましろ 農産物直売所 愛菜館

map B-2

地場野菜・鶏卵・地元産米、品揃え豊富な直売所です。

1 けいはんなプラザ

けいはんな学研都市の中核施設

京都府立けいはんなホール、ホテルや、多くの研究者が入居するラボ棟、スーパーラボ棟などが集合。レストランや日本料理店、銀行や郵便局もある大型複合施設です。

map A-1

2 八大龍王神社（はちだいりゅうおうじんじゃ）

再建された神社

乾谷地区金堀にあり、元は個人の家で祀られていました。のちに絶家により放置され荒廃していましたが、昭和22年（1947）5月24日に山田荘小学校の奉安殿の建物を本殿として使用し再建されました。

map B-2

3 大坂道の道標（おおさかみち）

伊賀の国に続く道

国道163号線の旧道をかつては「大坂道」と呼んでいました。本能寺の変の時、家康がこの道を使って伊賀の国へ出たと伝えられています。

map C-2

4 普賢院（ふげんいん）

「不許酒肉五辛入門内」の碑

門前に「不許酒肉五辛入門内」の碑があります。創建などは不詳ですが、明治16年（1883）、近くの長福寺を合併。寄棟造のお堂と庫裏は、ともに朽ち果てたので、20年ほど前にブロック建ての祠がつくられました。

map C-2

5 新殿神社（しんでんじんじゃ）

京都の自然200選

古くは植樹神社と呼ばれ、京田辺市の朱智神社から祭神を迎えたとも伝わります。シイやカシなど常緑広葉樹の森のなかに参道があり、境内は「京都の自然200選」に選ばれています。

map C-2

精華町経由で、一路三河へ

本能寺の変による家康決死の「伊賀越え」。三河帰還の際には、精華町山田地区を経由したことが『徳川実記』に記されています。これをもとに、小説などにも書かれているのです。

桜並木の散歩道

map B-2・C-2

約800mの桜並木が続く道。山田川沿いに見える桜の風景が美しい散歩道です。

B 国立国会図書館関西館

map A-1

精華町にある国立国会図書館の関西館。高度情報化社会に対応した「電子図書館」の機能をも盛り込み、平成14年（2002）10月に開館しました。ガイドツアーやイベント等も実施しています。

※18歳未満利用不可

出発 → けいはんなプラザバス停 ・・・ 約26分 2.1km ・・・ 八大龍王神社 ・・・ 約21分 1.7km ・・・ 大坂道の道標 ・・・ 約5分 400m ・・・ 普賢院 ・・・ 約3分 260m ・・・ 新殿神社 ・・・ 約7分 540m ・・・ 山田川駅 → 終点

精華町

約5.4km

約67分

246kcal

家康、近松、寛次郎ゆかりの地へ

ウォーキングコース 一例

JR祝園駅・近鉄新祝園駅より精華大通り
精華台方面「けいはんなプラザ」バス停下車

出発 けいはんなプラザバス停（奈良交通バス） ▶ 1 けいはんなプラザ ▶ 2 蓮台寺（れんだいじ） ▶ 3 稲植神社（いなうえじんじゃ） ▶ 4 如来寺（にょらいじ） ▶ 5 釈迦の池（しゃか） ▶ 6 来迎寺（らいこうじ） ▶ 終点 学研都市線 祝園駅（ほうその）

高低差70mのウォーキング

	102	102	50	48	56	52	42	31

標高(m)：100m / 75m / 50m / 25m / 0m

2 蓮台寺（れんだいじ）

町指定文化財の薬師如来像

文禄２年（1593）、寺号を青蓮庵から蓮台寺に変えたと伝わります。境内の薬師堂には町指定文化財の薬師如来立像が、本堂には四宮神社ゆかりの延命地蔵菩薩立像が安置されています。

map B-1

3 稲植神社（いなうえじんじゃ）

京都八坂神社の元

南稲八妻・植田両地区の氏神。伝承によると、元祇園（京都八坂神社の元）と伝わるほど、古い歴史があります。家康一行が立ち去る時、焼き払われたと伝えられています。

map C-1

4 如来寺（にょらいじ）

明治元年に消失

寺歴については不明で、明治元年（1868）に消失するまで家康の位牌が保管されていました。明治２０年（1887）頃に現在の地にお堂が建てられました。地元の有志の方が護っています。

map C-1

精華町植田地区と徳川家康

家康については、大坂の陣の際、如来寺で農民に看護を受けた説と、本能寺の変の際、植田村を通ったところを敵に襲われたが、無事だったという説があります。また、如来寺消失まで保管されていた家康の位牌は現在、来迎寺に保管されています。

A けいはんな記念公園

map B-2

けいはんな学研都市の建設を記念する公園です。日本の里の風景をテーマにしており、水景園（日本庭園）などを楽しめます。季節の行事も盛りだくさんです。

5 釈迦の池（しゃか）

河井寛次郎お気に入りの場所

植田地区の中にある池。陶芸家・河井寛次郎が足しげく通った精華町一帯のなかでも、お気に入りの場所であったことが日誌からうかがえます。

map C-1

6 来迎寺（らいこうじ）

お千代と半兵衛の墓

天平勝宝元年（749）、僧行基が開いたと伝えられています。江戸時代の浄瑠璃・歌舞伎作家の近松門左衛門が書いた『心中宵庚申』の主人公お千代と半兵衛の墓や、源定平卿の墓「上人塚」があります。

map C-1

出発 けいはんなプラザバス停 ▶ 約33分 2.7km ▶ 蓮台寺 ▶ 約8分 640m ▶ 稲植神社 ▶ 約6分 500m ▶ 如来寺 ▶ 約4分 280m ▶ 釈迦の池 ▶ 約4分 280m ▶ 来迎寺 ▶ 約12分 1km ▶ 祝園駅 終点